

# 観光客誘致に大成功している今こそ 新たな施策で移住・定住促進を

九度山町議会  
6月議会

2017年第2回九度山町議会定例会(6月議会)は、正副議長選挙など議  
会人事関係4件、2017年度一般会計補正予算案1件、町長の専決処分承  
認8件、その他(財産の取得、町道認定)3件の審議・採決を行ない、6月23日  
に閉会しました。\*議会人事については前号でお知らせしています。  
一般質問は2名の議員が質問に立ちました。

## 伊丹議員の一般質問

### 本町の農業振興策 について

【伊丹】グリーンツーリズム  
や市民農園を活用するな  
ど観光振興策と連動して、  
農業後継者、新規就農者  
の開拓を図ることについて  
尋ねます。

【町長】グリーンツーリズムや  
市民農園は都会に住む人が  
余暇を楽しむ一つの方法であ  
り、九度山で就農し、生計を  
立てていくところまではなか  
なか結びつかないのでは、と考  
えます。

### 「お試し居住」「お試し農 業体験」で農業振興を

## 伊丹

私が今回提案するグリー  
ンツーリズムは、二地域

(現住地と九度山)居住で、  
九度山に滞在し農業体験  
をしてもらうというもの  
です。「生業(なりわい)と  
して農業をしたい」という  
”田園回帰”志向の都会の  
人に滞在する住宅と遊休  
地を貸して新規就農者の  
見込みを増やすことを提  
案します。

## 町長

観光農園と連動させるなどで  
農業後継者を増やすことは、  
非常に厳しいものがあると思  
います。後継者が育たないのは、  
所得が上がらないからです。  
国の政策を持って充てないこと  
には、地方公共団体では厳し  
いものがあると思います。お互  
いに農林水産業衰退の本質を  
見きわめ、その本質を変える  
努力が必要です。そして国に  
対して地方の声を上げていき、  
農林水産業(の国の政策)を大  
きく方向転換しないと地方は  
ますます衰退していきます。



提案の方法で少し増やしてい  
くところはありますが、本当  
の処方箋ではないと思います。  
同時にいろいろな意見を出し  
ていただいて、それが可能であ  
れば行政の中に取り入れたい  
と思います。

### ★「グリーンツーリズム」とは？

「緑豊かな農村地域において、その  
自然、文化、人々との交流を楽しむ、  
滞在型の余暇活動」―農林水産省グ  
リーンツーリズム研究会中間報告  
(1992年)より。

### 裏面もご覧ください

## 定住・移住促進について

【伊丹】遊休町有地を宅地と  
して20年間無償で貸すなどの  
方策で、河根地区や不動谷川  
沿いの地区に移住者を呼び込  
むことを提案します。

【町長】町有地の無償提供で  
移住を促さなければいけない  
という危機的な状況まで本町  
はまだいつていません。また、  
そういう方法は公平性の点  
からそれはどうなんだとい  
う議論になります。町内にあ  
る住宅としていい土地を提供  
(販売)するということをも  
考えなくては、と思っています。

【伊丹】提案の主旨は、町内全  
地区ではなく、河根小学校区  
や古沢小学校区に住んで農業  
をやつていこうと考える人への  
支援です。農業振興策、後継  
者作りとリンクさせれば不公  
平感が出てこないのではないか  
と考えます。

(質問終わり)



町議会議員 伊丹俊也



### ブログ開設中

「Good Morning, 九度山」  
<http://licitami.at.webry.info/>

## 九度山民報

No.48 2017年7月10日発行

編集・発行 日本共産党九度山町支部

《連絡先》伊丹俊也

〒648-0101 九度山町九度山747-32

TEL&FAX 0736-26-7382

e-mail itami\_t@mth.biglobe.ne.jp

# 和歌山県後期高齢者医療広域連合議会

## 定例会が7月26日に開会

後期高齢者医療保険の保険料などを決める和歌山県後期高齢者医療広域連合議会定例会が召集されました。

同議会定例会は年2回、2月と7月に召集されています。2月の定例会は主に次年度予算案を、7月の定例会は前年度決算を審議する議会となります。

この広域議会議員は和歌山県の市町村議会から選出されています。和歌山市議会からは2名、他の市町村議会からはそれぞれ1名が選出され、合計31名で議会が構成されています。九度山町議会からは日本共産党の伊丹俊也議員が、6月議会で選出されました。

### 議会傍聴のお願い

九度山町のみなさん。後期高齢者医療広域連合議会です。どんなことが審議されているかを傍聴してみませんか。傍聴は、傍聴者名簿に住所・氏名などを記入するだけでできます。事前予約などはありません。ただし、傍聴席に限りがありますのでご注意ください。

日時 2017年7月26日(水)  
午後1時開会

場所 ダイワロイネットホテル和歌山(和歌山市・けやき大通り沿い・和歌山市役所より和歌山駅方面へ300m)4階会議室



ダイワロイネットホテル和歌山

## ●国政と地方自治

財務省と財界は、市町村が自由に使える財源である地方交付税の削減を狙っています。

### 地方交付税削減筋違い

「使途判断は自治体に」  
日本共産党・田村衆院議員

日本共産党の田村貴昭議員は、5月30日の衆院総務委員会、財務省や財界が自治体の基金の現在高を問題視し、地方

交付税の削減に結びつけようとしていることを取り上げ、筋違いの議論だ」と批判しました。

田村氏が自治体の基金が増加している要因について、ただしたのに対し、総務省は人口減少などによる税収見込み、社会保障や公共施設の老朽化対策などに要する経費の増加、予期しない災害への備えなど、地域の実情を踏まえて歳出抑制効果を行いなから、基金の積み立てを行った結果だと答弁しました。

田村氏は、「基金のあり方や使途は、自治体が決めるものであり、それが適正かどうかの判断は、議会や住民が決めることだ」と主張しました。高市早苗総務相は、地方全体として基金が増加していることを持つて、地方財源を削減することとは妥当でない」と答弁しました。

また、田村氏は、民間委託などで経費を抑えた自治体の経費水準を、交付税算定に反映するトップランナー方式の対象業務を財務省が主張していることを批判。「対象となる業務の単位費用が削減されると、地方交付税自体が削減される。対象拡大は論外。トップランナー方式はやめるべき」と主張しました。(6月7日「ほんぶん赤旗」より)

# 格差と貧困ただす

## 4つの改革

### 1 税金の集め方

- 能力に応じて負担する公正・公平な税制
- 大企業への優遇税制を改める。
- 富裕層に応分の負担を求め、所得税の累進課税を強化する。

### 2 税金の使い方

- 社会保障、若者、子育て中心の予算
- 社会保障削減路線を中止し拡充を

### 4 産業構造

- 「残業代ゼロ法案」撤回。「サービスマン」根絶。「ブラック企業」規制
- 派遣法の抜本改正、派遣は一時的・臨時的なものに。「均等待遇」実現

### 3 働き方

8時間働けばふつうに  
くらせる社会

- 大企業と中小企業、大都市と地方などの格差是正
- 農産物の価格保証・所得補償を抜本的に強化。食料自給率向上を国の産業政策の重要な柱に



しもむらまさひろ  
**下村雅洋**

61歳・新人

橋本高校卒、和歌山大卒。民青同盟和歌山県委員長、日本共産党紀北地区委員長など歴任。党県常任委員。